

K型織機（昭和35年）



企業名 (所在地)	津田駒工業株式会社 (金沢市野町5丁目18番18号)
公開場所	本社ショールーム
機械の説明	<p>津田米次郎が国内で初めて開発した絹織物用力織機の技術をさらに高めて、津田駒次郎が開発した織機で昭和6年から50年間で約9万台を生産した。</p> <p>部品設計におけるメートル法の採用や加工精度の向上と品質の統一を図るためのリミットゲージシステム(規格公差)の採用など高品質織機の量産体制を実現した。従来の織機に比べて製織範囲が拡大し、軽目羽二重から服地、帯地などの重目織物までさまざまな種類の織物の製織が可能になった。</p>